

令和4年度 林業普及週間現地情報 (5/30～6/3)

森林管理課

センダン造林地調査

6月1日(水)

令和4年6月1日(水)、沖縄県八重山農林水産振興センター職員は、森林資源研究センター職員と平得県営林のセンダン造林地の毎木調査及び病虫害被害調査を行った。

平得県営林のセンダンは令和2年12月に植栽し、令和3年6月に施肥下刈り、10月に下刈りを行っている。植栽後約1年半の平均苗高は242cmで、最も成長のよい個体で443cmであった。センダンは、通直に仕立てるため芽かき及び枝打ちを行う必要があることから、調査プロットの設定で芽かき・枝打ち実施区と対照区(未実施)に分け、芽かき及び枝打ちの成長への影響及び効果の検証を行う。芽かき・枝打ち実施区の26本/43本(約6割)で前回樹高(R3.11調査時)より、低い位置で後生枝の発生が確認された。また、病虫害被害として、カミキリムシによる被害が2本、こぶ病が1本であった。

センダンは早生樹として、全国的にも注目度が高く、八重山地域のアクションプログラムに取り組み樹種の一つであり、今後も継続して調査を行い、研究結果の普及指導に取り組む。

表 調査結果

調査日	2021/2/22		2021/11/16		2022/6/1							
	生存数	生存数	枝打ち実施 個体数	生存数	植栽時 平均苗高 (cm)	平均DBH (cm)	平均苗高 (cm)	平均生長量 (cm)	枝打ち 対象 個体数	枝打ち 実施 個体数	作業前 枝下高 (cm)	作業後 枝下高 (cm)
芽かき、枝打ち区	46	43	14	43	54	2.5	244	190	32	31	153	234
対照区	47	47	0	46	50	2.1	239	189	37	0	138	138
小計	93	90	14	89	52	2.2	242	190	69	31	145	184

* 植栽は、2020.12月に実施



写真1 枝打ち状況



写真2 枝打ち後、癒合剤塗布



写真3 こぶ病

(報告者：八重山農林水産振興センター 金城)